



渺々万里

第130号



見学旅行

2年5組 大西 理仁

『見学旅行での思い出』
～事件はいつも、お食事時に～

「忘れ物してないな～？行くぞ～？」

担任のこの掛け声とともに私たちの見学旅行は始まりました。期間は4泊5日。関西から関東まで広く日本を旅するなかなか珍しい行程です。この見学旅行で私は多くのことを体験しました。これからその一部を紹介したいと思います。

最初の事件は、バスの中で起こりました。席についてほっと一息ついたのち、自分の手荷物をあらためて確認します。一つ一つ丁寧に準備した…はずだったのですが、どこを探しても見つからないものが一つ。それはまさかのお弁当でした。朝早くからの出発ということもあり、朝ごはんと昼ごはんの二食分に相当するだけの食糧を持参することになっていたのですが、そのどちらともがいくら探しても見つかりません。自分でも最初は、「まさか忘れ物はないだろう」と思っていたわけですから、もう大混乱です。結局空港で買うことができてことなきを得たのですが、それでも「この旅行、何処か普段とは違うな」というのを感じさせる一幕でした。

二つ目の事件は、関西で起こりました。私たちの見学旅行では、関西、関東にそれぞれ丸一日ずつ好きなところに行ける「自主研修」というものがあります。私の班は少し珍しく、「どうせ京都に行くなら寺社仏閣巡りをしよう」とのことで古都、京都にあるお寺や神社などを巡りました。事件は昼から夜にかけて立て続けに起こります。まずは昼。なんと予定していたご飯屋さんが閉まっていたのです！これには皆がっかり。仕方がないので向かいのうどん屋さんに入ってはみたものの、そこで出されたうどんの味が、皆が思っていたより薄かったらしく、モヤモヤとした思いを払拭することができません。昼はまだ良かった。問題は夜。これまた予定していたご飯屋さんへ行きます。その道すがら私は言いようのない違和感を覚えていました。それはなぜか？明らかに普通のご飯屋さんがあるような通りではないからです。周りを見ても居酒屋ばかりで、明らかに見学旅行生が来る場所とは思えません。店につき、メニューを見た瞬間、私は全てを理解しました。「焼肉セット 13,000円」私は思わず声を漏らしてしまいました。流石に無理だ、と。実はその店は昼と夜で出すメニューが違い、そのうちの昼メニューを見て店を決めてしまったらしく、それでそんな事態が発生してしまったのです。（北海道の純粋な高校生は、ちょっとお高めな焼肉居酒屋のランチメニューが放つ、お手ごろな高級感にまんまとたぶらかされたのだ。許すまじ、居酒屋ランチ商法。）結局その店は諦めて、その付近にあった定食屋さんで夕食を取りました。

そして、三つ目。関東での出来事でした。私たちの見学旅行では、「コース別バス研修」というものがあります。これは5つほどある行き先から自分で決めて、同じものを選んだ人と一緒にバスに乗って研修に行くという内容なのですが、そこでとても不思議なことが起きました。またしてもご飯どきに。バス研修も自分の好きなご飯を自由時間の間に食べる、という方式でした。そこで私は、付近に止まっていた移動販売車のホットドックを食べようと思いました。ほんの少し並んでいる列に並び購入。さあ食べよう！とホットドックを手にしたその時でした。

「君、少し良いかい？」

呼ばれて振り向くとそこにはカメラを持った人が。話を聞くと、北海道新聞の東京支社の方だそうで、その移動販売車というのは北海道が誇る日本ハムが主力商品シャウエッセンの魅力を全国にアピールする目的で出店していたものだったのです。というわけで写真を撮るバシャリ。後日その記事と一緒に礼状が送られてきました。

本当はまだまだたくさんのことがあったのですが、これ以上は書ききれないのでこのくらいにしたいと思います。そんなこんなでこの旅行で得た教訓は、「トラブルは起こるもの。それを楽しむこと」、「予定通りにはいかないもの。臨機応変に対応すること」、「人の縁は不思議なところで繋がること」というものでした。この心構えさえあれば、普段の日常生活でさえ、今より楽しいものになるのではないのでしょうか。





1・2年次進路行事

進路指導部 坂本 大樹

10月25日(水)に進路別体験学習として、1年次生全員で札幌近郊の大学・専門学校の見学に伺いました。1組から4組までは進路希望別に4つのコースに分かれ、午前中に大学、午後に専門学校を見学しました。それぞれの学校では、実際に大学の模擬講義を受け、実習を体験させていただいたことで、学生生活の模擬体験ができました。5組は北海道大学を1日見学し、工学部棟で研究室を見学した後、本校を卒業した現役北大生と交流するなど、3年後への具体的なイメージが深まったと思います。

また、翌日10月26日(木)には、新ひだか町公民館にて進路別の相談会を実施し、大学・専門・公務員・就職と分野ごとに様々な上級学校や企業のお話を聞くことができました。冬休みにかけてオープンキャンパスの計画を立て、普段聞くことのできない就職・公務員の仕事内容について学ぶことができ、有意義な時間となりました。

2年次生は、11月21日(火)に分野別進路オリエンテーションを実施しました。大学・短大進学希望者向けに、8つの大学から講師の方に来校いただき、大学の講義を体験させていただきました。また、3つの専門学校と企業の方にも来校いただき、看護・専門・公務員・就職と希望別に、最新の進路情報についてお話を聞くことができました。2年次生にとっては、半年後に本格的に始まる進路活動に向けて、意識の変化が見られる充実した体験になったと思います。

今後もさまざまな進路行事が予定されています。これらの各行事を通して得た情報や知識を自分の進路選択に活かし、より一層、日頃の学校生活を前向きに取り組んでいって欲しいと思います。



部活動生徒向け AED 講習

保健環境部 横山 晃秀

日高中部消防組合消防署救急救助様より講師をお招きし、11月15日(水)に着任教員向け、22日(水)、24日(金)、28日(火)、29日(水)に部活動生徒向けの心肺蘇生、AED講習会を実施しました。例年、運動部の生徒のみを対象にして行ってきましたが、今年度は文化系部活動の生徒も参加し、実施日数を増やして行いました。

心肺停止になった場合、素早い一次救命処置(心肺蘇生やAEDなどの救急手当)によって救命の可能性を高めることができます。本校にはAEDが2台設置されていますが、万が一の事態が起きた際に、迅速な措置を行うための貴重な経験を積むことができました。



部活動の主な結果

〈バレーボール部〉

第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会北海道代表決定戦(北海道立総合体育センター, 11/14-17)

男子 1回戦 札幌北陵 1-2 敗退
女子 1回戦 下川商業 2-0 勝利
2回戦 旭川実業 0-2 敗退

〈バドミントン部〉

選抜予選(苫小牧市総合体育館, 11/23)

男子ダブルス優勝 村井・村本(1-5)、男子シングルス3位村井
女子ダブルス優勝 大島・高田(2-2)、女子シングルス優勝大島、準優勝高田

〈ハンドボール部〉

新人戦(栗林商会アリーナ, 11/17-18)

対室蘭栄 24-26 負け、対苫小牧高専 42-17 勝ち、対苫小牧工業 39-27 勝ち
結果：準優勝、全道大会出場

〈剣道部〉

新人戦道南ブロック(函館・小樽・室蘭・苫小牧地区)七飯町ファミリースポーツセンター体育館(11/17-19)

個人戦 2-1 長谷川・団体戦全道大会出場権獲得

〈卓球〉

新人戦(苫小牧市川沿公園体育館, 11/11-12)

福岡、古山ダブルス、ベスト8(決定戦敗退)、シングルスは全員初戦敗退

〈囲碁将棋部〉

全道新人戦(札幌更正高等学校)

男子個人 2-2 矢野 31位 女子個人 2-5 森 6位

〈書道部〉

全道学校書道展(札幌市民ギャラリー)

《文部科学大臣賞》3-2 結城 《北海道知事賞》2-5 加渡 《推薦》2-1 猪村 1-3 黒田 1-5 小野
国際高校生選抜書展(兵庫県原田の森ギャラリー)
《秀作賞》3-5 水野 《入選》3-1 鈴木 3-2 結城
3-4 江田 2-2 北郷、平野 2-4 青木 2-5 加渡、村井

〈放送局〉

高文連地区大会・朗読(旭川市民文化会館, 11/16-17)

全道大会出場→2年奥野、佐藤永、大滝



12月行事予定

21日(木)	スーツ着こなし講座(3年次)
22日(金)	全校集会
23日(土)	冬期講習スタート